

月刊 介護保険

介護に携わる人の
応援マガジン

特集

特養ホームの多床室に 室料負担導入を提案

社保審・介護給付費分科会

2014

12

vol. 226

現地ルポ—自治体編

応援プロジェクトを立ち上げ介護職員の定着を支援
埼玉県の取り組み

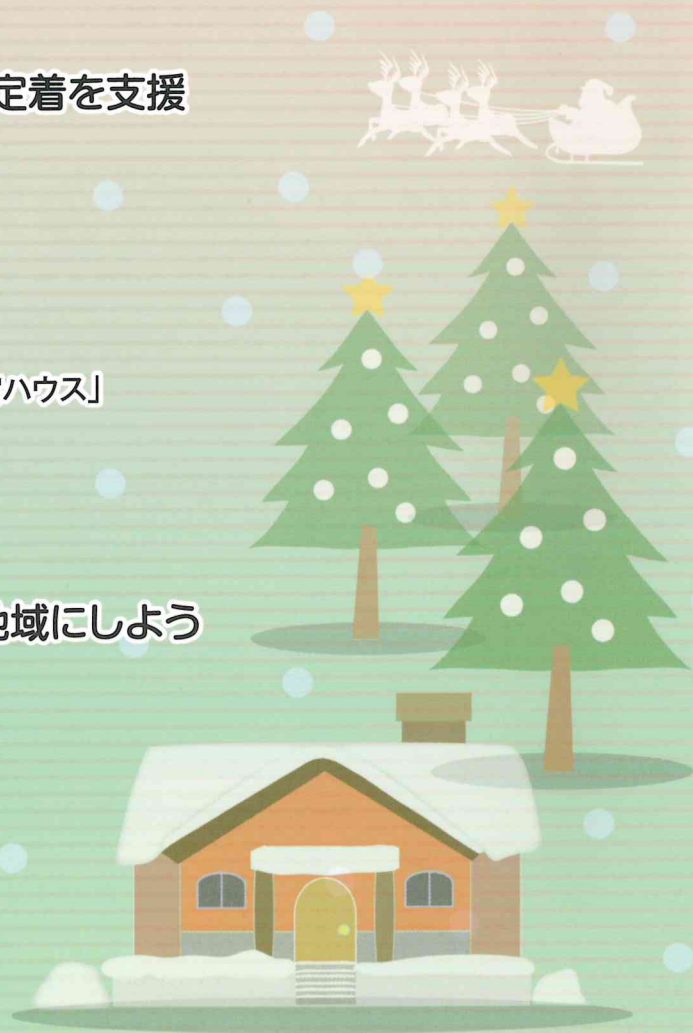
現地ルポ—事業者編

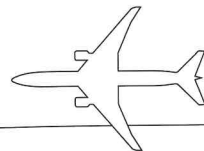
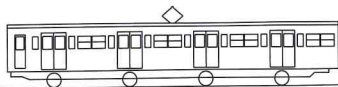
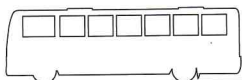
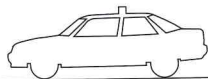
“日本初”のシェアハウス型ホスピス
サービス付き高齢者向け住宅「ファミリー・ホスピス鴨宮ハウス」
(神奈川県小田原市)

仕事に役立つ! 実務解説

鼎談 社会の力を総動員して助け合う地域にしよう
— 新しい総合事業で“互助”をつくり出す —

株式会社 法研





第21回

街

へ出よう！

地域交通の活用で移動をスムーズに

個性的なタクシーの登場で変わる 大都市の風景

公共交通機関の発達している大都市と過疎が進む地方では交通事情がかなり異なります。住民が高齢化した大半の市町村では、少子化や若者の都市部への流出等により人口が減少していますが、東京都など一部の大都市では、これからも人口が増えると予測されています。

2020(平成32)年のオリンピック・パラリンピックの開催が東京に決まりました。開催に備えて今後、建設現場などでは労働力が一層不足することから、多様な言語を使う外国人などが建設現場へ流入することが予想され、東京ではさらに複雑なコミュニケーションに対応する交通システムが必要となります。

そのような状況に対応する社会システムのデザインは、高齢者や障がい者だけでなく、外国人やベビーカーを使用する子育て家族にも使いやすく便利なものとなっており、交通のユニバーサルデザイン(UD)と呼ばれています。

こうした背景からUDの考えをもとにタクシーサービスの普及に取り組む地域があります。UDタクシーの車両は、ゆったりとした移動空間が確保され、乗降時に使いやすい手すりが装備されているほか、スライド式ドアが開閉するとステップが連動して用意されるなど、足元が不安定な人でも安心して利用できるように装備が施されています。

リフトやスロープ付きの介護タクシーでも車いす利用者への対応は可能ですが、大きく違うのは、介護タクシーが福祉目的の有償運送だけに利用が限られている一方で、UDタクシーは一般ユーザーへの対応が可能で、大きな荷物を乗せられるスペースが確保されており、旅行で空港やターミナル駅まで行く人や、ゴルフ仲間やチャーターする人など、さまざまな利用者に用途が広がっています。これに近いサービスを提供しているのがイギリスの「ロンドンタクシー」で、車いすユーザーにも“便利で使いやすいデザイン”と評価されています。

UDタクシーの運賃料金は一般のタクシー料金と同程度です。国が定めた条件を充たせば補助金が活用できる仕組みもあり、通常の車両より余分にかかる導入コストや維持費も賄えることから、介助システムをもつ地域のNPO団体と連携してUDタクシーの利用促進をはかる地域もあります。

人々の暮らしが多様化すれば、交通システムもまた一層の多様化が求められます。オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、国ではロンドンタクシーのようなタイプの車両の導入を検討しているという話もあるそうで、もし実現すれば、個性的な都市タクシーの登場でまちの様子も大きく変わると思います。



NPO法人
日本トラベルヘルパー協会
理事長 篠塚 恭一

PROFILE しのみづか・きょういち

株式会社SPIあ・える倶楽部代表取締役。
平成18年にNPO法人日本トラベルヘルパー
(外出支援専門員)協会を設立。